

報告事項 No.2

会 議 録

会 議 の 名 称		令和5年度第2回守谷市地域福祉推進委員会
開 催 日 時		令和6年1月17日(水) 開会:14時00分 閉会:15時45分
開 催 場 所		市役所 全員協議会室
所 管 課		健幸福祉部 社会福祉課
出席者	委 員	清水委員、長谷川委員、森山委員、天内委員、山下委員、横張委員、小野寺委員、澤田委員、古屋委員、大塚委員、鶴田委員、萩原委員、齊藤委員、長津委員、佐藤委員 計15名
	事 務 局	稲葉健幸福祉部長、羽田社会福祉課長、滝本健幸長寿課長、高橋市民協働推進課長、福島生涯学習課長、松井社会福祉課長補佐、北川係長、社会福祉協議会 高橋事務局長 計 8名

審 議 経 過

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

<第3期守谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画における人材の確保・育成>

事務局から説明

- 協働のまちづくり担い手育成事業(市民大学) …市民協働推進課
- ボランティアの確保・育成、ボランティア活動の支援 …社会福祉協議会
- もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク …生涯学習課

主なご意見

- 協働の担い手育成を目的としている市民大学について、受講生の地域活動への参加に繋がっていないのではないか。地域活動にどの程度繋がっているのかといった視点からもデータをきちんと収集すべき。
- 計画に位置付けられている取組事業の評価については、数値目標を立てた上で、客観的な評価が必要だと思う。
- 仕事を退職した世代に対して、地域活動への参加を働きかける講演会等の開催を検討してみたらどうか。
- ボランティアの内容は多岐に渡る。内容によっては有償ボランティアも検討が必要。
- ボランティアへの参加について、小さい頃からの意識醸成が必要。
- ボランティアポイント制度は、頼む方も頼みやすくなるので良い取組みだと思う。適用範囲を介護施設だけに限定しないでほしい。
- 市には、地域活動に参加する人に対して伴走支援をするとともに、各地域の取組みを市内全域に広める役割を担ってほしい。それが人材確保・育成にも繋がると思う。

4 閉 会

